

【国語】 < 中学校 第2学年 >

1 結果のポイント

「話すこと・聞くこと」について、話し手の説明の仕方の工夫を正しく聞く力をみる問題や、話し方のよさについて取り上げた内容を正しく聞く力をみる問題では、正答率が90%を上回っている。

「書くこと」について、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書く力をみる問題では、正答率が80%を上回っている。

広い範囲から課題を見付け、必要な材料を集める力をみる問題や、伝えたい内容をはっきりさせ、構成を工夫して書く力をみる問題では、正答率が70%を下回っている。

「読むこと」について、物語の展開に注意して、登場人物の心情をとらえる力をみる問題では正答率が80%を上回っている。


文脈における語句の意味を正しく理解しながら読む力をみる問題では、正答率が50%を下回っている。

「言語事項」について、対義語を正しく使う力をみる問題や、同訓異字を正しく使う力をみる問題では、正答率が90%を上回っている。

中学校2年生までに学習した漢字を正しく読む力をみる問題や、小学校6年生までに学習した漢字を正しく書く力をみる問題では、正答率が70%を下回っているものがある。

2 結果の分析

(1) 話し方のよさについて取り上げた内容を正しく聞く力をみる問題の例(「聞く能力」)

<問題>  の四

小池さんは、松本さんのスピーチのよさについて話しています。どのようなことがよかったですと話していますか。最も適切なものをア～エの中から一つ選び、符号で書きなさい。


- ア 声が大きく聞きやすいこと
- イ 表情が豊かで聞きやすいこと
- ウ 間の取り方がよく聞きやすいこと
- エ グラフを活用していて分かりやすいこと

<結果> 正答率 96.9% (正答...ア)

<分析>

この設問は、小池さんが自分の意見を述べた後に小池さんの話し方のよさについて述べた内容を正しく聞く力をみる問題である。昨年度の類似問題の正答率と比較しても大きな伸びが見られ、話し方の工夫に着目して聞く指導の改善が効果的に図られているといえる。今後も、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見とをそれぞれ聞き分け、話の要点はどのようなことであり、それはどのような事実に基づいているのかをとらえながら聞く力の指導とともに、話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなど、「話し方の工夫」について注意しながら聞く力の指導を重視したい。

(2) 伝えたい内容をはっきりさせ、構成を工夫して書く力をみる問題の例(「書く能力」)

<問題>  の三

渡辺さんは、説得力のある意見文に仕上げるために書き表し方の工夫をしています。「D意見文」を読み、あなたがとらえた渡辺さんの書き表し方の工夫を「自分の立場を述べ、～」に続くように書きなさい。

<結果> 正答率 66.8% (正答...略)

<分析>

この設問は、渡辺さんが説得力のある文章にするために伝えたい内容をはっきりさせ、構成を工夫していることをとらえ、まとめて書く力をみる問題である。正答率が70%を下回っており、無回答率も15.7%と高かった。誤答としては、渡辺さんの書き表し方の工夫ではなく意見文

の内容や生徒自身の考えを書いているものが多かった。今後、書いた文章を互いに読み合う活動を位置付けるとともに、互いの文章を評価し合い、書き表し方の工夫について学び合う指導を充実させる必要がある。

(3) 文脈における語句の意味を正しく理解しながら読む力をみる問題の例(「読む能力」)

<問題> 四の一

文章中の()に当てはまる最も適切な語をア～エの中から選び、符号で書きなさい。

- ア いそいそと
- イ ぎざぎざと
- ウ ゆったりと
- エ のろのろと

<結果> 正答率 47.2% (正答...ウ)

<分析>

この設問は、文脈における語句の意味について、干潟の様子を正しくとらえ「起伏」の修飾語を「ゆるやかな谷」と結び付けて理解する力をみる問題である。誤答としては、「イ」を選んだものが多かった。その要因として、「干潟」「起伏」などの語句の意味の理解が十分でなく、干潟の様子をとらえることができていないことが考えられる。今後、辞書を活用して語句の意味を確実に理解するとともに、文脈の中で語句の意味をとらえる力を一人一人の学習状況に応じて身に付けさせていくことが大切である。また、生徒自身の体験や読書経験を生かしながら理解できるよう、読書指導を充実させていく必要がある。

(4) 小学校6年生までに学習した漢字を正しく書く力をみる問題の例(「言語に関する知識・理解・技能」)

<問題> 四の一の9・10

- 9 パーティーに マネ く。
- 10 生徒集会で議長を ツト める。

<結果> 9 正答率 69.6% (正答...招)

10 正答率 48.4% (正答...務)

<分析>

この設問は、小学校6年生までに学習した漢字を正しく書く力をみる問題である。誤答としては、「招」を「紹」、「務」を「勤」「努」とするなど、形の似ているものや読みが同じものが多かった。その要因としては、生徒が漢字の形、読み、意味を関連付けて正しく理解できていないことが考えられる。今後、授業で漢字を書く場や機会を多様に設定したりするなどして、漢字を積極的に使う意識を高める指導を充実させる必要がある。

3 分析を踏まえた指導の改善

(1) 指導計画の工夫改善

書いた文章を交流を通して互いに読み合う活動の位置付けを!

- ・発表、案内、編集、鑑賞等、収集した情報を活用して書く活動を単元指導計画に意図的に位置付け、5つの言語意識を設定して生徒が主体的に取り組むことができるようにする。また、書いた文章を交流する時間を位置付け、相互評価し合うことを通して、それぞれの単元で学習した「書き方の工夫」についての理解を深める必要がある。

(2) 指導方法の工夫改善

話し合いの中で意見を聞き分ける力を高める指導の充実を!

・「話すこと・聞くこと」では、話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する力を高める指導が大切である。例えば、『『聞く生活』を考えよう』の単元では、目的や状況を明らかにし、それに応じてメモを取る活動を通して、情報を取捨選択することを具体的に理解できるようにするとともに、内容を整理して書くためのポイントを理解し、実際のメモを交流して取捨選択の仕方、効果的にメモを取ることができるようにすることが大切である。

文章の構成や材料の活用の仕方を交流する指導の充実を！

・「書くこと」では、自分の立場を明らかにし、その根拠を自分の体験や具体的な事実などから挙げて、論理の展開を工夫して書く力を高めることが大切である。例えば、「根拠を明らかにして書こう」の単元では、自分の立場を決め、考えを明確にした上で根拠を挙げて絞り込んでいく際、考えとそれを支える根拠のつながりや、それらの適否、効果などについて交流することを通して、根拠を明らかにする方法の理解を深めることができるようにすることが大切である。

文脈の中で一つの語句の意味を読むことに関する指導の充実を！

・「読むこと」では、多様な語句の意味や用法に注意して読む力を高める指導が大切である。例えば、「雨の日と青い鳥」では、作品の中に出てくる天候や気候、風景、物などの描写に着目し、季節や時間の経過などに加え、人物の心情の変化などを読み深めることを通して、文脈の中における語句の意味やキーワードに着目できるようにする。また、教材文以外のさまざまな文章を読むことを通して文脈をとらえ、言葉の意味や用法に注意して読む力を高めることができるように、図書館教育との関連を図り、生徒の読書活動を充実させることにも配慮する必要がある。…例

言語に関する知識・理解の定着を見届ける指導の充実を！

・「言語事項」では、日常の言語生活に役立てるための基礎的・基本的な事項として一人一人の生徒に確実に身に付いていることを見届ける指導を充実させることが大切である。漢字や語彙・文法に関する指導をきめ細かく行うことはもとより、生徒が身に付けたかどうかを見届け、身に付くまで繰り返し指導することを徹底する。また、覚えた漢字を使うなど、生徒が日常生活の中で、身に付けた内容を主体的に活用する意識を高める指導の充実が大切である。

(3) 学習環境の工夫、学習集団の育成等

学校図書館の活用を計画的に位置付けた指導の充実を！

・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」及び「言語事項」について相互の密接な関連を図り、効果的に指導することが必要である。学校の読書週間や国語科の読書単元等の機会をとらえ、中学生向けに書かれた読み物を紹介し合うなど、多様な文種の読書に親しむことができるようにする。その際、学校図書館の機能の活用を図るよう計画的に利用にすることが大切である。

指導改善事例は、「岐阜県総合教育センターHP 教科指導等 学力向上P」授業改善(H16～H18)及び授業改善推進プラン(H19・H20)」を参照する。(http://www.gifu-net.ed.jp/gec/)

例	平成20年度 授業改善推進プラン 第1学年 目的に応じて情報を整理し、正確に記述する力をの育成に取り組んだ実践
例	平成19年度 授業改善推進プラン 第2学年 読み取りの交流の仕方を工夫し、自分の考えを深めていく読む力の育成に取り組んだ実践

関心・意欲・態度にかかわる指導改善の詳細については、P87意識調査結果を参照する。

中学校第2学年国語の授業において、生徒が楽しいと感じるのはどんなときか。	
第1位	教科書や資料の文書の内容に興味をもったとき
第2位	自分で伝えることができたり、内容を理解できたりしたとき

学習
の窓

情報を聞き取るには

- 目的や状況に応じて、必要な情報を取捨選択しながら聞く。
- メモを取る場合は、話のすべてを書き留めるのではなく、内容を整理しながら聞く。
- キーワード(重要な言葉)を意識して聞く。
- 箇条書きにしたり、番号をつけたりする。
- 傍線を引いたり、囲んだりする。
- 5W1Hを意識して聞く。

(教科書33頁)

.....例